

祝辞

春の兆しと名残り雪が織りなす津南らしい季節の今日この頃、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆さま、生徒とともに汗を流し、中学校生活を支えて来られましたことに深く敬意を表しますとともに、今日のご卒業を心からお祝い申し上げます。

そして地域の皆さま、日頃から生徒を温かく見守って頂き、今日の晴れ舞台をともにお祝い頂きますこと、誠に有難く御礼申し上げます。

さて卒業生の皆さん。

大事な日に限って、夜が明ける前に目が覚めてしまう経験はありませんか。心が緊張しているせいでしょう。「今日うまくいくだろうか」、「失敗したらどうしよう」などと。

イギリスの歴史家、トーマス・カーライルは「圧力なくして、ダイヤモンドは生まれません」と言い残しています。

15歳というプレッシャーは、時として自分の中にまだ眠っているキラキラした力を叩き起こしてくれるギフトなのかもしれません。

さあ、明るく元気に翔け出しましょう。心配せずに、慌てないで、勇気を出して進んでください。1人ではありません。この先の道で、少し不安に思ったときは、友達や先生、家族、そして地域の先輩が近くに必ず、相談相手としていてくれることでしょうから。

卒業生の皆さんのこれからの人生の時間が豊かであることを心から願って、祝辞といたします。

令和6年3月8日

津南町長 桑原 悠